

第43回 全日本仏教徒会議 愛媛大会 開催

大会テーマ 「浄心の道 ―巡礼―」

2015(平成27)年10月30日(金)～31日(土)

於: ひめぎんホール(県民文化会館)

第43回全日本仏教徒会議 愛媛大会実行委員長

愛媛県仏教会副会長 内藤 卓洲



この度、第43回全日本仏教徒会議を愛媛県松山市ひめぎんホール（県民文化会館）を会場として開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

全日本仏教徒会議は昭和29年に和歌山県高野山で第1回が開催されて以来、全国各地、各宗ご本山等で開催されてきました。愛媛県仏教会でも、将来愛媛の地において全日本仏教徒会議を開催すべく、機会を待っておりまして。平成22年の栃木大会、平成25年の和

歌山・高野山大会に参加するとともに、全日本仏教会とも協議を重ね、今回の開催を決定いたしました。

わたしたち愛媛県仏教会は、仏陀の和の心に則りつつ宗派・宗門の枠を越えて、それぞれの地域仏教会の実情に応じて活動しております。そして全国及び各地域のさまざまな仏教運動が時代に即応する全一性と計画性を持った僧俗一体の仏教運動となるよう努めております。ついては四国・愛媛において、全日本仏教徒会議を開催するにあたり、今大会のテーマについて実行委員会で議論を重ねてまいりました結果、「浄心の道―巡礼―」といたしました。

四国遍路の文化は日本のみならず、世界に発信するに値する貴重な宗教文化です。僧俗を越え、宗派を超えて1200年の歴史が築き上げられました。お遍路姿で巡礼されるお姿は、四国にあっては日常生活に馴染んだものであり、そこから「お接待」の心も育ちました。また松山は、遊行上人と呼ばれる一遍上人の生誕地、遍歴の俳人種田山頭火の終焉の地でもあります。そこで、旅と祈りを考察する「浄心の道―巡礼―」を大会テーマとしたゆえんであります。

日本では四国のみならず、西国や坂東の観音霊場をはじめとして、巡礼の道は各地にあり、日本の道はすべてが巡礼の道であると言っても過言ではありません。さらに世界に目を向ければ、有名なスペインのサンティアゴ巡礼など、さまざまな宗教と巡礼は切り離すことができません。

今回の大会を通じて「巡礼」の心を捉え直し、「浄心の道」であることを伝える機会となることを願っております。そして道後の湯につかっていただいて、穏やかな愛媛の文化に触れていただければ幸いです。全国各地の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

主催：愛媛県仏教会・公益財団法人 全日本仏教会



愛媛大会ポスター



ひめぎんホール（県民文化会館）